

こんにちは。

私たちは、労働組合や女性・中小業者・農民・青年・弁護士・医療団体などが力をあわせて、憲法を守り生かそうと活動する「戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター」です。

私たちは思想信条を超えて多くの人たちと手をつなぎ、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす署名」を広げています。この署名に3,000万人のみなさんにご協力いただき、安倍政権による改憲の動きにストップをかけたいと願っています。ぜひ足を止めて署名にご協力ください。

みなさん。安倍首相の改憲発言が止まりません。自民党総裁選の中で、改憲を正面に掲げた安倍首相は、これに勝ったから「信任を得た」かのように、「3年間の任期中に改憲にチャレンジしたい」などと、改憲への決意と執念を示しています。

本来、憲法を守らなければならない総理大臣が、期限を切った「改憲発言」を繰り返すなど、明白な憲法99条違反であり、許されることではありません。

国民は、このような勝手な安倍改憲を認めていません。共同通信の世論調査(9/20・21)では、秋の臨時国会への自民党改憲案提出に「反対」が51.0%で、「賛成」の35.7%を大きく上回っています。また、どの世論調査でも、国民が政治に求めているのは、社会保障(年金・医療)と景気対策であり、「改憲」など望んでいません。安倍首相が「改憲」に前のめりになればなるほど、国民世論とのギャップは増すばかりです。

地震、豪雨、台風と自然災害が続く中、安心・安全、命と暮らしを守る政治こそ求められています。憲法25条は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障しています。事故や災害、いろいろあっても、安心して生きられる、憲法25条が生かされる社会が求められています。憲法を変えるのではなく、憲法を生かす政治の実現が求められています。今の日本で求められているのは、過去最高額の防衛予算ではなく、防災予算の増額ではないでしょうか。

改憲へ暴走する安倍政権にストップをかけるために、大きな力を発揮しているのが、今、お願いしている「安倍9条改憲NO！憲法を生かす3000万人署名」です。いま、この3000万人署名は全国で広がり続けています。あなたの「戦争はイヤだ」「平和が何より」という声を、この署名にお寄せください。「9条守れ」の声を集めて、安倍首相の勝手な改憲を止めようではありませんか。

みなさん、戦争法の成立強行から3年がたちました。10月1日から横田基地にオスプレイが配備されるなど米軍基地がどんどん強化されています。さらに、それと合わせて、自衛隊の基地強化もすすんでいます。自衛隊と米軍の一体化のために、攻撃能力をもつ兵器をアメリカから購入すると言って、来年度防衛予算の概算要求は5兆3000億円と過去最高になりました。陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」や、最新鋭ステルス戦闘機F35Aなど、高額な米国製の最新兵器を大量に購入し、米国とともに世界で戦争する準備を着々と進めています。

さらに、いま、政府は過激組織ISが活動するシナイ半島に展開する「多国籍軍監視団」への自衛隊派兵を検討しています。国連とは何の関係もない実力部隊に自衛隊を参加させようというのです。自衛隊を、これまでの「専守防衛の自衛隊」から「海外の戦闘地域で武力行使する自衛隊」に変えようとしています。

そのような「海外で戦争する自衛隊」の存在を憲法9条に書き込むことで、「戦争放棄・戦力不保持」を決めた9条を壊して、日本を「戦争する国」にしようというのが、安倍「9条改憲」のねらいです

日本を「戦争する国」にしてよいのでしょうか。自衛隊を「戦争する自衛隊」にしてよいのでしょうか。

自衛隊員を「殺し殺される」戦闘地域に派遣してよいのでしょうか。憲法9条改悪を許さず、憲法9条があるからこそ保たれてきた日本の「戦後」をいつまでも続けようではありませんか。

安倍首相は、「北朝鮮の脅威」を根拠に、軍備拡大をすすめ、改憲を主張してきました。でも、いま、安倍首相の改憲の根拠そのものがなくなりつつあります。

4月の南北首脳会談、6月の米朝首脳会談に続いて、9月にも南北首脳会談が行われました。朝鮮半島の非核化と平和に向けた動きがすすんでいます。南北間で「一切の敵対行為を全面中止」し、「いかなる場合にも武力を使用」しないことも確約しました。この間の朝鮮半島の動きは、「軍事対軍事」では緊張を高めるだけであり、対話と外交でこそ解決の道が開かれることを示しています。

いま、朝鮮半島の平和のプロセスを後押しする外交、憲法9条にもとづく平和外交こそ、日本政府に求められているのではないのでしょうか。「北朝鮮の脅威」がなくなっているのに「9条改憲」に固執し、軍備増強に暴走する安倍政権は、世界の流れからも孤立してしまうのではないのでしょうか。

「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」で、私たち国民の声を示しましょう。「3000万人署名」にご協力をよろしくお願いします。